

7月19日全校集会で表彰伝達をしました。前号でお伝えした書道展、日本霊長類学会での発表、ウエイトリフティング部、アーチェリー部、硬式テニス部の表彰でした。おめでとうございます。その後は防災教育ということで環境防災科が中心となり、火災の際の避難についての知識伝達及び地震の際の避難行動、そして避難訓練の際の誘導や、消火活動についてのレクチャーがありました。地震放送の際の机に潜る実演で思い出したのは、阪神・淡路大震災の時に修学旅行中だった私の学年と一つ下の学年がこのような訓練をした時のことです。私の学年の生徒は地震の揺れを経験していないので渋々机の下に潜っており、1年生は全員が放送と同時に机の下に潜っていたことです。これは仮設校舎であったため隣の棟の様子がよく見えたのでわかったのですが、経験によってこれだけの差が出るのだと感じました。皆さんは訓練であっても地震放送の場合は頭を守るためにすぐに机の下に潜ることを心がけてください。実際に行われた避難訓練では、比較的落ち着いて行動できており、整然と行われたように思います。実際の現場では時間との戦いになるかと思いますが、点呼、体調不良者等の確認を速やかにできることが一番大事です。万が一の際にも全員が無事であることをできるだけ早く確認することを防災ジュニアリーダーである環境防災科の生徒たちが呼びかけていました。放課後も関心のある生徒は中庭で消火器の扱いについて環境防災科の生徒に教えてもらっていました。生徒全体を見てもさすが舞子高校生、防災に関する意識は高いと感じました。防災教育にあたってくれた生徒の皆さんありがとうございました。



7月20日には1学期の終業式をしました。私からは、夏休み中に姿勢と歩き方のチェックをして欲しいということをメインに話をしました。長く続く姿勢でないと思いをもち続けることは難しくなります。良い姿勢を保つことができれば、継続することも増え、自分でも驚くような力を発揮できる場面が出てきます。まずは姿勢をチェック。そして歩き方のチェック。靴の減り方や、直線に沿って歩く際の足の向き方などをチェックすることで、体重のかけ方や正しい動きにつながるかどうかを確認してください。日常生活の場面で意識しないと部活動等の非日常的な場面で正しい動きにしていけません。歩き方をチェックすることで力の発揮の仕方を覚えることができパフォーマンスの向上につながります。さらに姿勢を良くすることが表情をよくしたり、行動をよくしたりすることにつながります。かつて出会った生徒の話で、2浪した生徒の話でしたが、自分を受け入れられると、人からのアドバイスもずっと自分に入ってくるし、とても良い表情になって面接でもしっかりと話せるようになります。逆にどこか構えていたり、いやいや話を聞いていたりすると良いアドバイスをもらっても素直に聞けず、表情も硬くなり面接などではうまく話せないことが多くなります。1学期当初に自分を知らずという話をしましたが、夏季休業中に振り返りをしながら自分自身のチェックをして欲しいと思いました。



新型コロナウイルスも最近では取り沙汰されることが少なくなってきました。しかしながら感染者は全国的にも増加傾向にあるようで、マスクの着用を含めた感染防止対策は個人に任されているものの油断はできません。合宿や遠征等泊を伴う部活動の練習やコンクールなど、十分に気をつけて本来の目的が果たせるよう体調管理もしっかりと行ってください。

すでに三者面談等が始まっており、学校での様子を伝えながら、ご家庭での様子をうかがい、また進路の方向性を確認するチャンスでもありますので、時間を有効に使っていただき、生徒たちが力を発揮できるようにしていきます。ご家庭の協力も必要となりますので、不明な点、確認しておきたいことなどそれぞれの担任にご相談、ご質問いただければと思います。梅雨明け宣言も出されました。暑い夏を充実させ実りあるものにしましょう。